



# Google Colab について

---



許諾なく撮影や第三者への開示を禁止します

1. 基本的な使い方
2. ドライブマウント
3. フォルダ構造

# 1. 基本的な使い方

---

# Google Colabを立ち上げる(1/4)



- Googleで Google Colab で検索



# Google Colabを立ち上げる(2/4)



- Googleアカウントでログインした状態でアクセスすると次のような画面に



# Google Colabを立ち上げる(3/4)



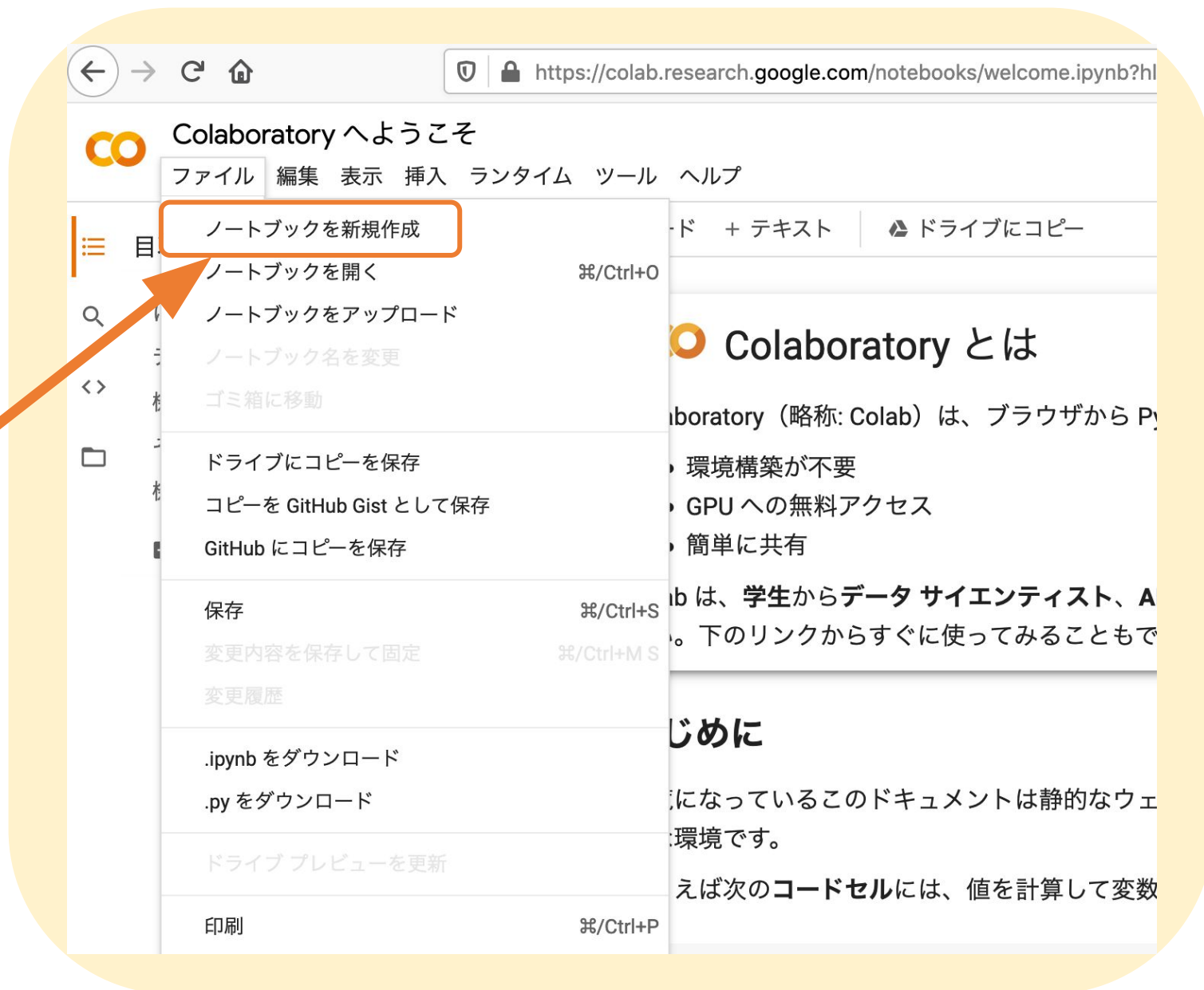
- Googleアカウントでログインした状態でアクセスすると次のような画面に

ここをクリック



- ノートブックを新規作成をクリック

ここをクリック



# (補足)人によってはこのような画面が出ることもあります



- ノートブックを新規作成をクリック



ここをクリック

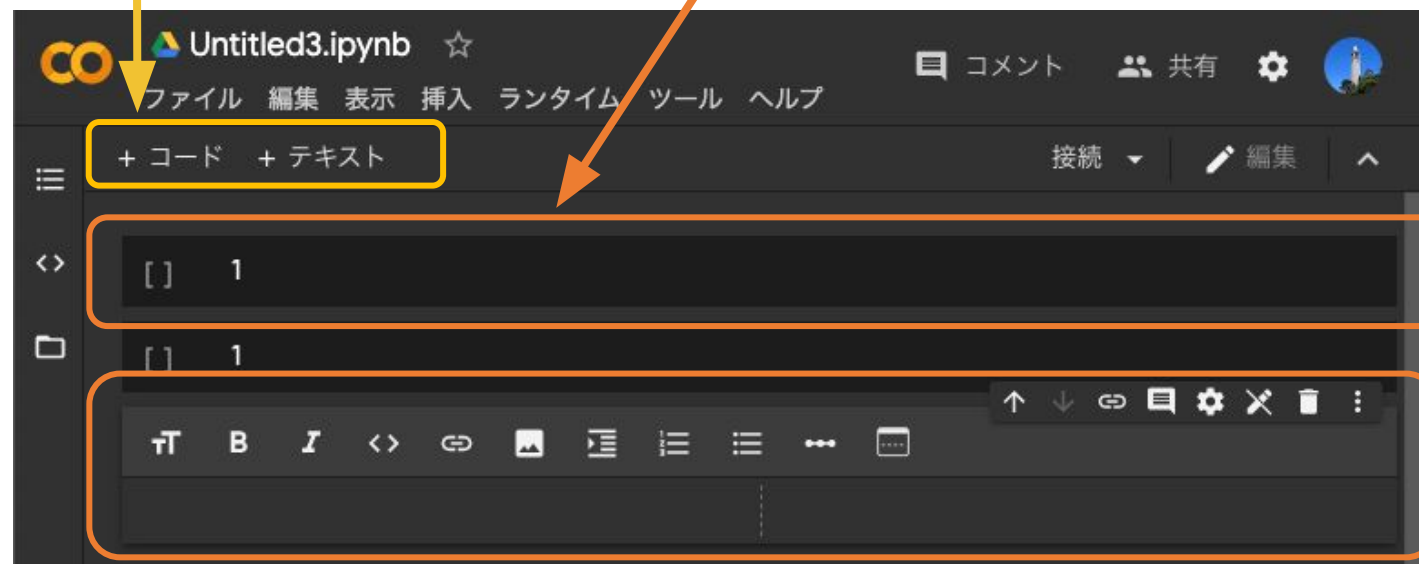


- セルには「コードセル」と「テキストセル」の2種類があり、コードセルにPythonのコードを書いて実行します。
- テキストセルを追加し、何か書きこんでください。

ここをクリックすると逐次空のセルが追加される

コードセル:

ここにPythonのコードを書いていく。コードはセル毎に実行されるので適宜セルを分けることが望ましい

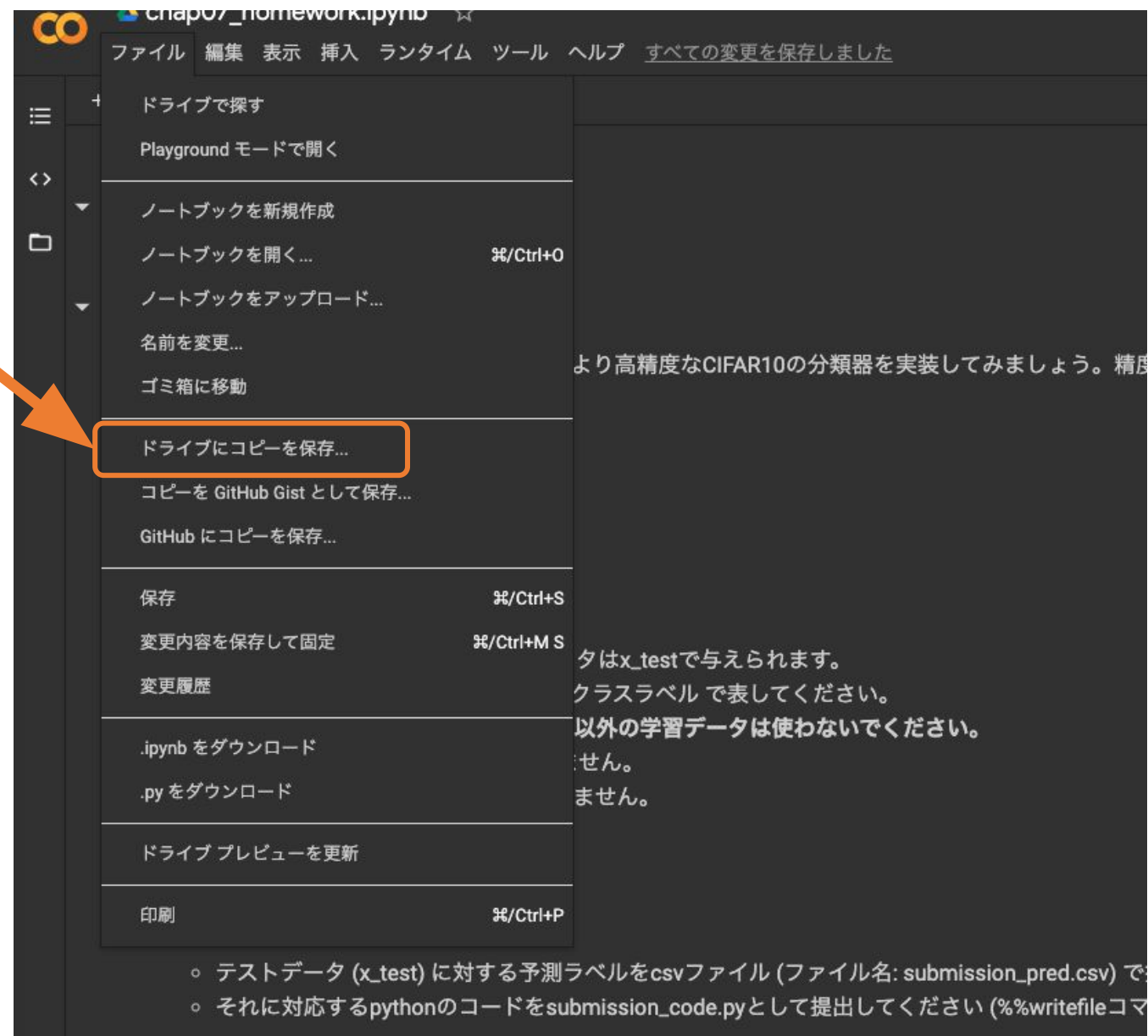


テキストセル:

Markdown記法を使うことで、Word等と同様に見出しをつけたり、画像を挿入したりすることが出来ます。詳細は本講義では割愛します。

# ノートブックを保存

- ファイルメニューから「ドライブにコピーを保存」を選択し、ノートブックを保存するとGoogle ドライブ内に **Colab Notebooks** というフォルダが自動で作られ、その中にノートブックが保存される



- ご自身のGoogle Driveの「Colab Notebooks」フォルダを開いてください。
- 配布されたファイルをドラッグ&ドロップで入れてください。(配布されたファイルは一度ローカルに保存した上でドラッグ&ドロップしてください)
- アップされた.ipynbファイルをダブルクリックして開いてください。

マイドライブ > lecture > week9

名前 ↓	オーナー	最終更新	ファイルサイズ
titanic	自分	2020/10/02 自分	—
.ipynb_checkpoints	自分	2020/10/01 自分	—
chapter10_特数量エンジニアリング.ipynb	自分	12:13 自分	117 KB
.DS_Store	自分	2020/09/17 自分	6 KB



- そのまま開ける人 →OK
- 上の画面が出る人 →Google Colabを選択してください
- Google のアプリ検索になってしまう人  
→アプリ検索でColabを検索して、アプリを接続してください

## 2. ドライブマウント

---

- 
- 一部の講義では下記の操作が必要になります。

- 一番最初のセルを実行します。



この実行マークを  
クリックする

又は

セルを選択してから  
Shift + Enter

- “Go to this URL in a browser: <http://~>”  
というリンクが現れます。



```
from google.colab import drive  
drive.mount('/content/drive')
```

...

Go to this URL in a browser: [https://accounts.google.com/o/oauth2/auth?client\\_id=947318989803-6bn6qk8qdgf4n4g3pfee6491hc0brc4i.apps.googleusercontent.com&redirect\\_uri=https://colab.research.google.com/&response\\_type=code&scope=https://www.googleapis.com/auth/drive](https://accounts.google.com/o/oauth2/auth?client_id=947318989803-6bn6qk8qdgf4n4g3pfee6491hc0brc4i.apps.googleusercontent.com&redirect_uri=https://colab.research.google.com/&response_type=code&scope=https://www.googleapis.com/auth/drive)

Enter your authorization code:



出てきたリンクを  
クリックする

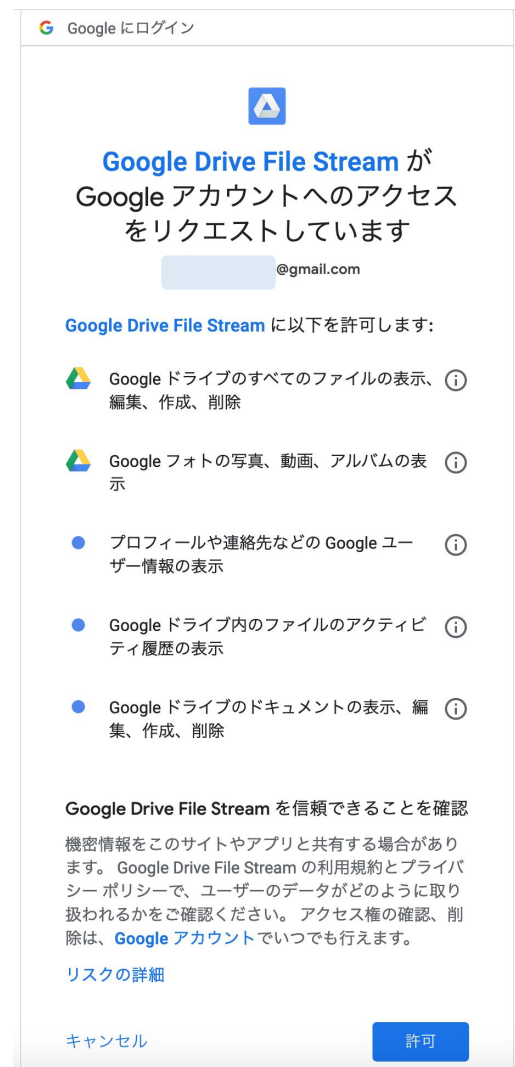
- ブラウザに別のタブが開かれ、アカウントの選択画面が表示されます。
- Google Colabを使用するアカウントを選択し、ログインしてください。

Google Colabを使用するアカウントをクリック(ログイン)してください。(人によってはアカウントが複数個表示されています)





- アカウントへのリクエストが表示されます。
- 「許可」をクリックします。



「許可」を  
クリックする

- コードが表示されるので、コピーします。



このマークを押すと  
コードがコピーされます  
(コードが青色になります)

- 元のipynbの画面(タブ)に戻ります。
- 「Enter your authorization code」の下に、コードをペーストします。
- Enterキーを押します。



```
from google.colab import drive  
drive.mount('/content/drive')
```

...

Go to this URL in a browser: [https://accounts.google.com/o/oauth2/auth?client\\_id=947318989803-6bn6qk8qdgf4n4g3pfee6491hc0brc4i.apps.googleusercontent.com&redirect\\_uri=https://colab.research.google.com/notebooks/authorize\\_redirect.py&response\\_type=code](https://accounts.google.com/o/oauth2/auth?client_id=947318989803-6bn6qk8qdgf4n4g3pfee6491hc0brc4i.apps.googleusercontent.com&redirect_uri=https://colab.research.google.com/notebooks/authorize_redirect.py&response_type=code)

Enter your authorization code:



いまコピーしたコードを、ここにペーストします。



```
from google.colab import drive  
drive.mount('/content/drive')
```

...

Go to this URL in a browser: [https://accounts.google.com/o/oauth2/auth?client\\_id=947318989803-6bn6qk8qdgf4n4g3pfee6491hc0brc4i.apps.googleusercontent.com&redirect\\_uri=https://colab.research.google.com/notebooks/authorize\\_redirect.py&response\\_type=code](https://accounts.google.com/o/oauth2/auth?client_id=947318989803-6bn6qk8qdgf4n4g3pfee6491hc0brc4i.apps.googleusercontent.com&redirect_uri=https://colab.research.google.com/notebooks/authorize_redirect.py&response_type=code)

Enter your authorization code:

ペーストしたら、Enterキーを押してください。

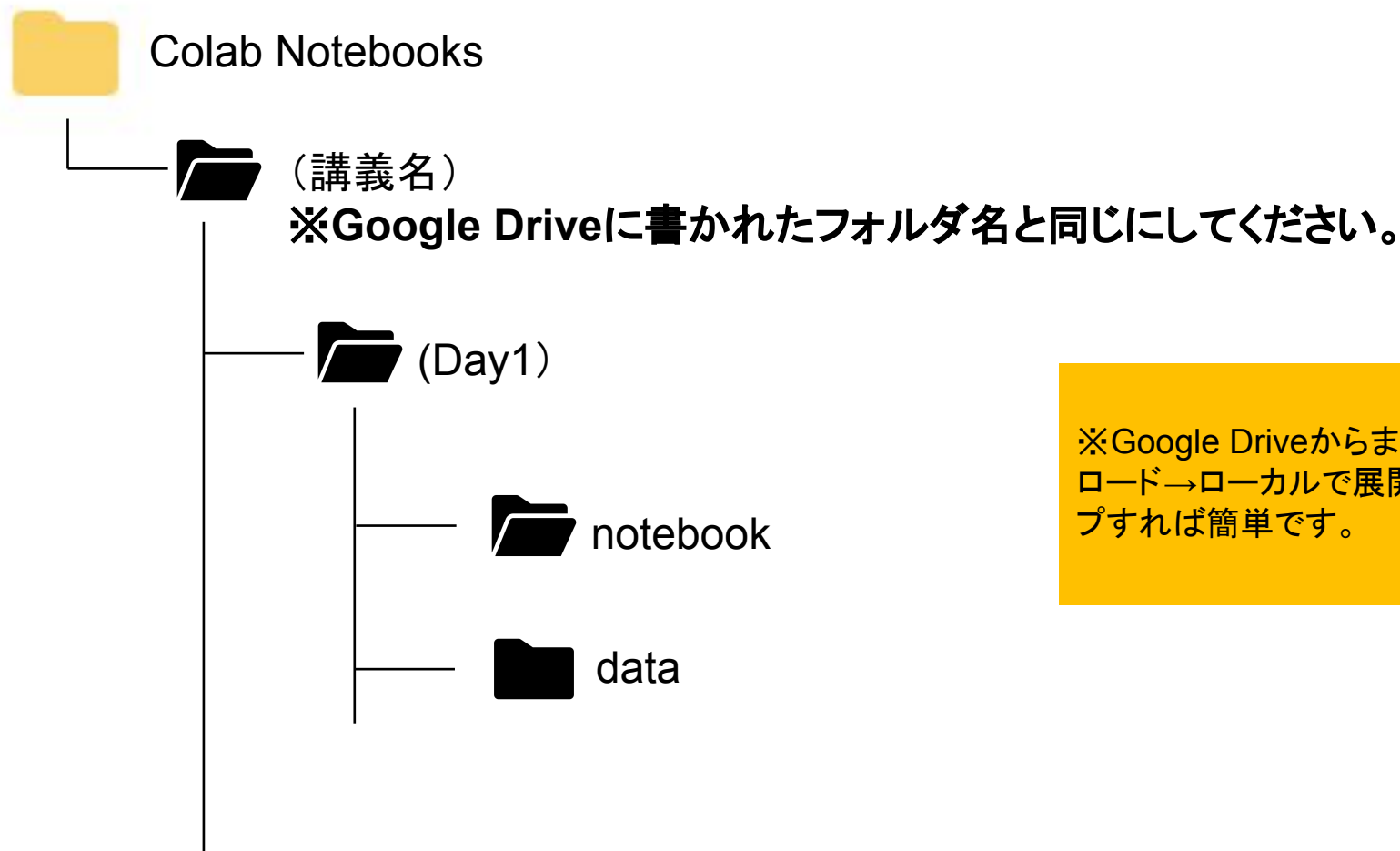
### 3. フォルダ構造

---

- 
- 一部の講義において下記の注意が必要です。

- Google Driveのマイドライブの下に、□色いフォルダの「Colab Notebooks」というフォルダがあります。
- その直下にGoogle Driveで配布したままフォルダ配置をお願いします。
- Pathの設定をご自身で出来る方はこの通りでなくても構いません。
- Zipで配布された場合は、展開したフォルダをそのままドラッグ&ドロップでアップしてもらえれば大丈夫です。

- 配布されたデータを「Colab Notebooks」以下に、下記の通り配置してください



※Google Driveからまるごとダウンロード→ローカルで展開→丸ごとアップすれば簡単です。

